

第 11 章 準備書から修正並びに評価書から補正した箇所及び内容の一覧

11.1 準備書から修正した箇所及び内容の一覧

準備書から修正した箇所及び内容の一覧は表 11. 1-1 に示すとおりである。

なお、表現の適正化及び誤字・脱字等の訂正については適宜行っている。

表 11. 1-1 準備書から修正した箇所及び内容の一覧

【全般的な事項】	
準備書	評価書
各図面	準備書提出後に変更した事業計画に修正した。
各図面	事業者以外が作成した地図を使用した場合は、出典を記載した。

【各章ごとの事項】	
第 1 章 事業計画の概要	
準備書	評価書
準備書に記載なし。	p. 1-11 「表 1. 3. 3-4」及び p. 1-13 「図 1. 3. 3-5」 ルートゾーン選定時の技術的・物理的条件を記載した。
準備書に記載なし。	p. 1-15 「表 1. 3. 3-6」 各ルートゾーンの回避・最小化の状況を記載した。
準備書に記載なし。	p. 1-23 「表 1. 3. 3-7」及び p. 1-24～26 「図 1. 3. 3-13～1. 3. 3-15」 鉄塔の位置及びその他工事用地配置の検討経緯を記載した。
p. 1-21 「本文」及び「表 1. 3. 3-5」	p. 1-27 「本文」及び「表 1. 3. 3-8」 準備書提出後に工事計画を見直し、各工事用地の最小化等を行った旨を記載し、工事計画面積を見直した値に修正した。
準備書に記載なし。	p. 1-28 「表 1. 3. 3-9」 準備書及び評価書における工事計画面積の比較を記載した。
p. 1-34 「本文」	p. 1-42 「本文」 工事着工予定時期を修正した。
p. 1-34 「表 1. 3. 3-7」	p. 1-42 「表 1. 3. 3-11」 最新の工事工程に修正した。

第 2 章 関係地域	
準備書	評価書
—	修正事項なし。

第3章 地域特性	
準備書	評価書
p. 3-3 「表 3.2.1-2」	p. 3-3 「表 3.2.1-2」 平成 24 年から令和 3 年のデータに更新した。
p. 3-8 「表 3.2.1-5」 及び 「図 3.2.1-4」	p. 3-8 「表 3.2.1-5」 及び 「図 3.2.1-4」 平成 28 年度から令和 2 年度のデータに更新した。
p. 3-9 「表 3.2.1-6」 及び 「図 3.2.1-5」	p. 3-9 「表 3.2.1-6」 及び 「図 3.2.1-5」 平成 28 年度から令和 2 年度のデータに更新した。
p. 3-10 「表 3.2.1-7」 及び 「図 3.2.1-6」	p. 3-10 「表 3.2.1-7」 及び 「図 3.2.1-6」 平成 28 年度から令和 2 年度のデータに更新した。
p. 3-11 「表 3.2.1-8」 及び 「図 3.2.1-7」	p. 3-11 「表 3.2.1-8」 及び 「図 3.2.1-7」 平成 28 年度から令和 2 年度のデータに更新した。
p. 3-11 「表 3.2.1-9」	p. 3-11 「表 3.2.1-9」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-12 「表 3.2.2-1」	p. 3-12 「表 3.2.2-1」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-12 「表 3.2.3-1」	p. 3-12 「表 3.2.3-1」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-17 「表 3.2.4-1」	p. 3-17 「表 3.2.4-1」 令和 2 年度のデータに更新した。
p. 3-18 「表 3.2.4-3」	p. 3-18 「表 3.2.4-3」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-18 「表 3.2.4-4」	p. 3-18 「表 3.2.4-4」 令和元年度のデータに更新した。
p. 3-19 「表 3.2.5-1」	p. 3-19 「表 3.2.5-1」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-21 「表 3.2.6-1」	p. 3-21 「表 3.2.6-1」 平成 28 年度版から令和 2 年度版のデータに更新した。
p. 3-57 「表 3.2.8-14」	p. 3-57 「表 3.2.8-14」 令和 4 年 1 月に新たに指定された国内希少野生動植物種（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年 法律第 75 号））の状況を更新した。
p. 3-67 「表 3.2.9-2(2)」 及び p. 3-69 「図 3.2.9-2」	p. 3-67 「表 3.2.9-2(2)」 及び p. 3-69 「図 3.2.9-2」 中部横断自動車道を視点場に追加した。
p. 3-72 「表 3.2.10-1」	p. 3-72 「表 3.2.10-1」 令和 2 年度版のデータに更新した。

p. 3-73 「表 3.3.1-1」	p. 3-73 「表 3.3.1-1」 令和 4 年 1 月 1 日現在のデータに更新した。
p. 3-73 「表 3.3.1-2」	p. 3-73 「表 3.3.1-2」 平成 27 年から令和元年のデータに更新した。
p. 3-77 「表 3.3.4-2」	p. 3-77 「表 3.3.4-2」 令和元年度版のデータに更新した。
p. 3-77 「表 3.3.4-3」	p. 3-77 「表 3.3.4-3」 令和元年度版のデータに更新した。
p. 3-80 「表 3.3.7-1」	p. 3-80 「表 3.3.7-1」 平成 28 年度刊行から令和 2 年度刊行のデータに更新した。

第 4 章 方法書及び準備書に対する意見及び事業者の見解	
準備書	評価書
準備書に記載なし。	p. 4-9～4-13 「4.5 準備書に対する意見のある者の意見の概要及び事業者の見解」 上記の章を追加した。

第 5 章 環境影響要因の把握	
準備書	評価書
—	修正事項なし。

第 6 章 環境影響評価の項目	
準備書	評価書
—	修正事項なし。

第 7 章 環境影響評価の手法	
準備書	評価書
p. 7-10 「表 7.2.1-1(1)」 及び p. 7-12 「図 7.2.1-1」	P7-10 「表 7.2.1-1(1)」 及び p. 7-12 「図 7.2.1-1」 中部横断自動車道を主要な眺望地点に追加した。
p. 7-11 「表 7.2.1-1(2)」	p. 7-11 「表 7.2.1-1(2)」 予測方法に視点からの対象の視覚的な大きさを表す指標である垂直視覚と鉄塔の見え方を加え修正した。
準備書に記載なし。	p. 7-13～7-15 「7.3 専門家による技術的助言」 上記の章を追加した。

第8章 環境影響評価の結果	
8.1 陸上植物	
準備書	評価書
p. 8-21 「表 8. 1. 1-4」	p. 8-21 「表 8. 1. 1-4」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、対象事業実施区域内外の植生区分の面積及び割合を修正した。
p. 8-28 「表 8. 1. 1-8」	p. 8-28 「表 8. 1. 1-8」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、保全すべき植物種の対象事業実施区域内・近傍・外の生育状況を修正した。
p. 8-33～8-61 「表 8. 1. 2-1(1)～(29)」	p. 8-33～8-60 「表 8. 1. 2-1(1)～(28)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、保全すべき植物種の対象事業実施区域内・近傍・外の生育状況及び確認個体を修正し、それに応じて予測結果も修正した。
p. 8-64 「表 8. 1. 3-1」	p. 8-63 「表 8. 1. 3-1」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、環境保全措置を検討する保全すべき植物種を修正した。
p. 8-65 「本文」	p. 8-64 「本文」 環境保全措置のうち移植について、移植先や移植方法の検討経緯を記載した。
p. 8-65～8-70 「表 8. 1. 3-2(1)～(6)」	p. 8-64～8-67 「表 8. 1. 3-2(1)～(4)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、陸上植物に係る環境保全措置を修正した。
p. 8-70 「表 8. 1. 3-2(6)」	p. 8-67 「表 8. 1. 3-2(4)」 陸上植物全般の環境保全措置について、再検討した内容を記載した。
準備書に記載なし。	p. 8-68 「表 8. 1. 3-3」及び「図 8. 1. 3-1(1)～(6)」 伐採箇所における緑化面積及び緑化位置を記載した。
p. 8-72～8-75 「本文」	p. 8-76～8-79 「本文」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。
p. 8-76 「表 8. 1. 5-1」	p. 8-80 「表 8. 1. 5-1」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。また、移植地周辺の樹林環境の変化を確認するための調査を事後調査に追加した。
8.2 陸上動物	
p. 8-111 「表 8. 2. 1-10」	p. 8-115 「表 8. 2. 1-10」 令和4年1月に新たに指定された国内希少野生動植物種（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年・法律第75号））の状況を更新した。

p. 8-114 「表 8.2.2-1(1)」	p. 8-118 「表 8.2.2-1(1)」 カワネズミの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-115 「表 8.2.2-1(2)」	p. 8-119 「表 8.2.2-1(2)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、 <i>Mogera</i> 属の生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-116 「表 8.2.2-1(3)」	p. 8-120 「表 8.2.2-1(3)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ニホンカモシカの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-117 「表 8.2.2-1(4)」	p. 8-121 「表 8.2.2-1(4)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ニホンリス及びムササビの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-118 「表 8.2.2-1(5)」	p. 8-122 「表 8.2.2-1(5)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ノウサギの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-121 「表 8.2.2-2(3)」	p. 8-125 「表 8.2.2-2(3)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ハイタカの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-123 「表 8.2.2-2(5)」	p. 8-127 「表 8.2.2-2(5)」 クマタカの繁殖巣から 1km の範囲について予測内容に加えた。また、準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、高利用域と重なる対象事業実施区域の面積（割合）及び重ならない面積を修正した。
p. 8-125 「表 8.2.2-2(7)」	p. 8-129 「表 8.2.2-2(7)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ハヤブサの繁殖期に妨害すべきでない範囲と重なる対象事業実施区域の面積（割合）及び重ならない面積を修正した。
p. 8-126 「表 8.2.2-2(8)」	p. 8-130 「表 8.2.2-2(8)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、キバシリの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-127 「表 8.2.2-2(9)」	p. 8-131 「表 8.2.2-2(9)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、クロジの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。

p. 8-129 「表 8. 2. 2-3(1)」	p. 8-133 「表 8. 2. 2-3(1)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、タカチホヘビの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積を修正した。
p. 8-130 「表 8. 2. 2-3(2)」	p. 8-134 「表 8. 2. 2-3(2)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、シマヘビの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-131 「表 8. 2. 2-3(3)」	p. 8-135 「表 8. 2. 2-3(3)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、シロマダラの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-132 「表 8. 2. 2-4(1)」	p. 8-136 「表 8. 2. 2-4(1)」 ヒガシヒダサンショウウオの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-134 「表 8. 2. 2-4(3)」	p. 8-138 「表 8. 2. 2-4(3)」 ナガレタゴガエルの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-135 「表 8. 2. 2-4(4)」	p. 8-139 「表 8. 2. 2-4(4)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ネバタゴガエルの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-136 「表 8. 2. 2-5(1)」	p. 8-140 「表 8. 2. 2-5(1)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、クツワムシの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-137 「表 8. 2. 2-5(2)」	p. 8-141 「表 8. 2. 2-5(2)」 準備書提出後に変更した事業計画により、キリシマミドリシジミ本州以南亜種の幼虫の食草であるアカガシ生育箇所が全て対象事業実施区域外となったことから、予測結果を修正した。
p. 8-140 「表 8. 2. 2-5(5)」	p. 8-143 「表 8. 2. 2-5(4)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ゴホンダイコクコガネの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-141 「表 8. 2. 2-5(6)」	p. 8-144 「表 8. 2. 2-5(5)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、ヤマトアシナガバチ及びスギハラクモバチの生息環境のうち、対象事業実施区域が占める面積（割合）及び周辺に分布する同質の環境の面積を修正した。
p. 8-143 「表 8. 2. 3-1」	p. 8-146 「表 8. 2. 3-1」 クマタカの繁殖巣から 1km の範囲の一部が対象事業実施区域と重なる旨を記載した。

p. 8-144 「表 8. 2. 3-2」	p. 8-147 「表 8. 2. 3-2(1)」 クマタカの環境保全措置について、専門家の意見を聴取して再検討を行い、人工巣の設置による影響の代償、繁殖期に配慮した工事作業の回避等の内容を追加記載した。
	p. 8-148 「表 8. 2. 3-2(2)」 希少両生類の環境保全措置について、専門家の意見を聴取して再検討を行い、産卵場所及び産卵期に配慮した工事作業の回避を行うほか、工事着手直前に調査を行い、確認された場合は個体の移動による影響の代償等の内容を追加記載した。また、陸上動物全般の環境保全措置について、再検討した内容を記載した。
p. 8-145 「本文」	p. 8-149 「本文」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。
p. 8-146 「表 8. 2. 5-1」	p. 8-150 「表 8. 2. 5-1」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。また、希少両生類の移動先における生息の有無を確認するための調査を事後調査に追加した。
8. 3 水生生物	
p. 8-160～161 「表 8. 3. 2-1(1)～(2)」	p. 8-165～166 「表 8. 3. 2-1(1)～(2)」 サツキマス（アマゴ）及びカジカの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-162～163 「表 8. 3. 2-2(1)～(2)」	p. 8-167～168 「表 8. 3. 2-2(1)～(2)」 ムカシトンボ、オオナガレトビケラ及びミズバチの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-164 「本文」	p. 8-169 「本文」 工事用地から周辺河川への雨水の流入による水質汚濁の影響をできる限り軽減するための措置を行う旨を記載した。
p. 8-164 「表 8. 3. 3-1」	p. 8-169 「表 8. 3. 3-1」 保全対象種ごとに同じ環境保全措置を繰り返し記載した内容をまとめた。また、残土処理場における環境保全措置について、再検討した内容を記載した。
準備書に記載なし。	p. 8-170～180 「図 8. 3. 3-1～3」 残土処理場①、③、④における環境保全措置（土砂流出防止設備）の施工方法を記載した。
p. 8-165 「本文」	p. 8-181 「本文」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。
p. 8-166 「表 8. 3. 5-1」	p. 8-182 「表 8. 3. 5-1」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。また、水生生物の生息状況の変化を確認するための調査を事後調査に追加した。

8.4 生態系	
p. 8-169 「表 8.4.1-3」	p. 8-185 「表 8.4.1-3」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、対象事業実施区域内外の環境類型区分の面積及び割合を修正した。
p. 8-180 「表 8.4.2-1(1)」	p. 8-196 「表 8.4.2-1(1)」 クマタカの繁殖巣から 1km の範囲について予測内容に加えた。また、準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、高利用域と重なる対象事業実施区域の面積（割合）及び重ならない面積を修正した。
p. 8-181 「表 8.4.2-1(2)」	p. 8-197 「表 8.4.2-1(2)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、生態系の上位種（シマヘビ）の生息地のうち対象事業実施区域が占める割合（面積）を修正した。また、生態系の上位種（カワネズミ）の生息地が対象事業実施区域と重ならないことを修正し、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-182 「表 8.4.2-2(1)」	p. 8-198 「表 8.4.2-2(1)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、生態系の典型種（スギ・ヒノキ植林、ニホンジカ、ヒヨドリ）の生息地のうち対象事業実施区域が占める割合（面積）を修正した。
p. 8-183 「表 8.4.2-2(2)」	p. 8-199 「表 8.4.2-2(2)」 準備書提出後に変更した事業計画に合わせて、生態系の典型種（ヒガシニホントカゲ、ネバタゴガエル、カジカ）の生息地のうち対象事業実施区域が占める割合（面積）を修正した。また、カジカの予測結果に、土砂流出が懸念される残土処理場に土砂流出防止設備を設ける旨を記載した。
p. 8-185 「表 8.4.3-1」	p. 8-201 「表 8.4.3-1」 クマタカの繁殖巣から 1km の範囲の一部が対象事業実施区域と重なる旨を記載した。
p. 8-185 「表 8.4.3-2」	p. 8-202 「表 8.4.3-2(1)」 クマタカの環境保全措置について専門家の意見を聴取して再検討を行い、生息に必要な環境要素を明らかにしたうえで、それぞれの環境要素ごとに環境保全措置の内容を記載した。
	p. 8-203 「表 8.4.3-2(2)」 希少両生類の環境保全措置について専門家の意見を聴取して再検討を行い、生息に必要な環境要素を明らかにしたうえで、それぞれの環境要素ごとに環境保全措置の内容を記載した。
	p. 8-204 「表 8.4.3-2(3)」 生態系全般の環境要素ごとに再検討した環境保全措置の内容を記載した。
p. 8-186 「本文」	p. 8-205 「本文」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。

p. 8-187 「表 8. 4. 5-1」	p. 8-206 「表 8. 4. 5-1」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。また、希少両生類の移動先における生息の有無を確認するための調査を事後調査に追加した。
8. 5 景観・風景	
p. 8-190 「表 8. 5. 1-1 (2)」 及び p. 8-191～192 「図 8. 5. 1-1～8. 5. 1-2」	p. 8-209 「表 8. 5. 1-1 (2)」 及び p. 8-210～211 「図 8. 5. 1-1～8. 5. 1-2」 中部横断自動車道を主要な眺望地点に追加した。
p. 8-193 「表 8. 5. 1-2」	p. 8-212 「表 8. 5. 1-2」 中部横断自動車道を選定結果に追加した。
p. 8-193 「表 8. 5. 1-3」	p. 8-212 「表 8. 5. 1-3」 中部横断自動車道の調査実施日を追加した。
準備書に記載なし。	p. 8-222 「図 8. 5. 1-3 (9)」 中部横断自動車道からの眺望景観の状況を記載した。
p. 8-203 「本文」	p. 8-223 「本文」 予測方法に視点からの対象の視覚的な大きさを表す指標である垂直視覚と鉄塔の見え方を加え修正した。
準備書に記載なし。	p. 8-223～8-225 「1) 視覚的な変化の程度」 上記の章を追加した。
準備書に記載なし。	p. 8-234 「図 8. 5. 2-1 (9)」 中部横断自動車道における眺望景観の変化の程度を記載した。
準備書に記載なし。	p. 8-235 「表 8. 5. 3-1」 環境保全措置を検討する眺望地点を記載した。
p. 8-212 「本文」	p. 8-236 「本文」 標準的な環境保全措置と追加の環境保全措置に分けて記載していた内容をまとめた。また、再検討した環境保全措置の内容を記載した。
p. 8-212 「表 8. 5. 3-2」	p. 8-236 「表 8. 5. 3-2」 鉄塔の色彩への配慮を行う鉄塔に、No. 36 及び No. 37 を追加した。
準備書に記載なし。	p. 8-237 「表 8. 5. 3-3」 鉄塔の色彩（明度）の比較検討結果を記載した。
準備書に記載なし。	p. 8-238 「図 8. 5. 3-1 (1)」 中部横断自動車道における鉄塔の色彩（明度）の比較検討結果を記載した。
p. 8-215 「本文」	p. 8-241 「本文」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。
p. 8-215 「表 8. 5. 5-1」	p. 8-241 「表 8. 5. 5-1」 再検討した環境保全措置に合わせて、記載内容を修正した。

第9章 事後調査計画	
準備書	評価書
p. 9-1～2 「表 9. 2-1(1)～(2)」	p. 9-1～2 「表 9. 2-1(1)～(2)」 「第8章 環境影響評価の結果」の修正に合わせて記載内容を修正した。また、陸上植物の「移植地周辺の樹林」、陸上動物の「希少両生類」、水生生物の「魚類」及び「底生動物」を事後調査に追加した。

第10章 対象事業に係る環境影響の総合評価	
準備書	評価書
p. 10-2～6 「表 10. 1-1(1)～(5)」	p. 10-2～6 「表 10. 1-1(1)～(5)」 「第8章 環境影響評価の結果」及び「第9章 事後調査計画」の修正に合わせて、記載内容を修正した。

第11章 準備書から修正した箇所及び内容の一覧	
準備書	評価書
準備書に記載なし。	p. 11-1～10 「第11章 準備書から修正した箇所及び内容の一覧」 上記の章（本章）を追加した。

第12章 環境影響評価を行った事業者の氏名及び住所	
準備書	評価書
—	修正事項なし。

第13章 資料編	
準備書	評価書
準備書に記載なし。	p. 13-49～69 「13. 4. 2 準備書手続に係る山梨県環境影響評価等技術審議会資料」 上記の章を追加した。

11.2 評価書から補正した箇所及び内容の一覧

評価書から補正した箇所及び内容の一覧は表 11.2-1 に示すとおりである。
 なお、表現の適正化及び誤字・脱字等の訂正については適宜行っている。

表 11.2-1 評価書から補正した箇所及び内容の一覧

第1章 事業計画の概要	
評価書	補正評価書
p. 1-11 「本文」	p. 1-11 「本文」 条件に応じて避けた方が良い範囲が、A及びBルートゾーンともに、可能な限り避けられている旨を記載した。
p. 1-13 「図 1.3.3-5」	p. 1-13 「図 1.3.3-5」 地すべり地形及び急傾斜地等を正確に反映した。
p. 1-14 「本文」, 「表 1.3.3-5」	p. 1-14 「本文」, 「表 1.3.3-5(1)～(2)」 各ルートゾーンについて、回避・最小化・代償の順で検討項目ごとの状況を整理した上で比較し、環境に与える影響が小さくなるルートゾーンを選定した旨を記載した。
p. 1-24 「図 1.3.3-13」	p. 1-24 「図 1.3.3-13」 地すべり地形のデータを追加した。
第2章 関係地域	
評価書	補正評価書
—	補正事項なし。
第3章 地域特性	
評価書	補正評価書
—	補正事項なし。
第4章 事業計画の概要	
評価書	補正評価書
評価書に記載なし。	p. 4-14～4-18 「4.3 評価書に対する意見及び事業者の見解」 上記の章を追加した。
第5章 環境影響要因の把握	
評価書	補正評価書
—	補正事項なし。
第6章 環境影響評価の項目	
評価書	補正評価書
p. 6-9 「表 6.1-5(2)」	p. 6-9 「表 6.1-5(2)」 廃棄物・発生土の一般的な環境保全対策として、鉄塔基礎の掘削に伴う残土を分析し、土壌の環境基準への適合の有無を確認した上で、適切に処理を行う旨を記載した。

第7章 環境影響評価の手法	
評価書	補正評価書
p. 7-13 「表 7.3-1(1)」	p. 7-13 「表 7.3-1(1)」 キバナノショウキランの移植方法について、専門家から得た技術的助言の内容を記載した。
p. 7-15 「表 7.3-1(3)」	p. 7-15 「表 7.3-1(3)」 希少両生類の輸送方法について、専門家から得た技術的助言の内容を記載した。

第8章 環境影響評価の結果	
8.1 陸上植物	
評価書	補正評価書
p. 8-64 「本文」	p. 8-64 「本文」, 「図 8.1.3-1」 及び 「図 8.1.3-2」 移植先の選定基準及びラン科植物の移植方法について、詳しい内容を記載した。また、分かりやすいよう移植先の選定基準及びラン科植物の移植方法の図を追加した。
p. 8-64～8-67 「表 8.1.3-2(1)～(4)」	p. 8-65～8-67 「表 8.1.3-2(1)～(3)」 環境保全措置により期待される効果について記載した。
p. 8-66 「表 8.1.3-2(3)」	p. 8-66 「表 8.1.3-2(2)」 キバナノショウキランに対する環境保全措置を「代償」(移植)に変更した。
p. 8-68 「表 8.1.3-3」	p. 8-68 「表 8.1.3-3」 緑化の有無、現況の植生タイプ、土地所有者、緑化方法の欄を追加した。また、注釈に、面積当たりの植樹本数及び樹種を記載したほか、樹木の伐採を行わない残土処理場①②③についても、地権者との協議によっては緑化を行う旨を記載した。
p. 8-75 「表 8.1.3-3」	p. 8-75 「表 8.1.3-3」 環境保全措置により期待される効果について記載した。
8.2 陸上動物	
p. 8-92 「表 8.2.1-6」	p. 8-92 「表 8.2.1-6」 1種の希少両生類の種名を、追加で非公開とした。
p. 8-115 「表 8.2.1-10」	p. 8-115 「表 8.2.1-10」 1種の希少両生類の種名を、追加で非公開とした。
p. 8-136 「表 8.2.2-4(1)」	p. 8-139 「表 8.2.2-4(4)」 1種の希少両生類の種名を、追加で非公開とした。
p. 8-146 「表 8.2.3-1」	p. 8-146 「表 8.2.3-1」 1種の希少両生類を、環境保全措置を検討する保全すべき動物に追加した。

p. 8-147～8-148 「表 8.2.3-2(1)～(2)」	p. 8-147 「表 8.2.3-2(1)～(2)」, 「図 8.2.3-1」 及び 「図 8.2.3-2」 環境保全措置により期待される効果について記載した。また, クマタカに対する求愛期も含めた工事制限及びコンディショニング, 希少両生類の産卵期に対する工事制限及び土砂流出防止設備の設置といった環境保全措置を追加した。その他, 工事制限は「回避」から「最小化」に変更し, 分かりやすいようクマタカ的生活サイクル及び人工巢の設置イメージの図を追加した。
p. 8-170～8-180 「図 8.3.3-3～8.3.3-5」	p. 8-150～8-160 「図 8.2.3-3～8.2.3-5」 後章の「8.3 水生生物」に記載していた土砂流出防止設備の施工方法を, 前章である「8.2 陸上動物」に移動した。
8.3 水生生物	
p. 8-169 「表 8.3.3-1」	p. 8-180 「表 8.3.3-1」 環境保全措置により期待される効果について記載した。
8.4 生態系	
p. 8-202～8-204 「表 8.4.3-2(1)～8.4.3-2(3)」	p. 8-202～8-205 「表 8.4.3-2(1)～8.4.3-2(4)」 環境保全措置により期待される効果について記載した。また, クマタカ(上位性)に対する求愛期も含めた工事制限及びコンディショニング, 希少両生類①(特殊性)及び生態系全般に対する土砂流出防止設備の設置といった環境保全措置を追加した。その他, 工事制限は「回避」から「最小化」に変更した。
p. 8-206 「表 8.4.5-1」	p. 8-207 「表 8.4.5-1」 生態系全般の事後調査に水生生物を追加した。
8.5 景観・風景	
評価書に記載なし。	p. 8-237 「表 8.5.3-3」 及び 「図 8.5.3-2(1)～(3)」 天候の違いを考慮した複数案について比較検討した。
p. 8-236 「表 8.5.3-2」	p. 8-244 「表 8.5.3-4」 環境保全措置により期待される効果について記載した。

第9章 事後調査計画	
評価書	補正評価書
p. 9-1 「表 9.2-1(1)」	p. 9-1 「表 9.2-1(1)」 キバナノシヨウキランを事後調査の対象種に追加した。
p. 9-2 「表 9.2-1(2)」	p. 9-1 「表 9.2-1(2)」 希少両生類②を事後調査の対象種に追加した。

第10章 対象事業に係る環境影響の総合評価	
評価書	補正評価書
p. 10-2～6 「表 10.1-1(1)～(5)」	p. 10-2～6 「表 10.1-1(1)～(5)」 「第8章 環境影響評価の結果」及び「第9章 事後調査計画」の補正に合わせて, 記載内容を補正した。

第 11 章 準備書から修正並びに評価書から補正した箇所及び内容の一覧	
評価書	補正評価書
評価書に記載なし。	p. 11-11～14 「11.2 評価書から補正した箇所及び内容の一覧」 上記の章（本章）を追加した。

第 12 章 環境影響評価を行った事業者の氏名及び住所	
評価書	補正評価書
—	補正事項なし。

第 13 章 資料編	
評価書	補正評価書
評価書に記載なし。	p. 13-70～85 「13.4.3 評価書手続に係る山梨県環境影響評価等技術 審議会資料」 上記の章を追加した。